

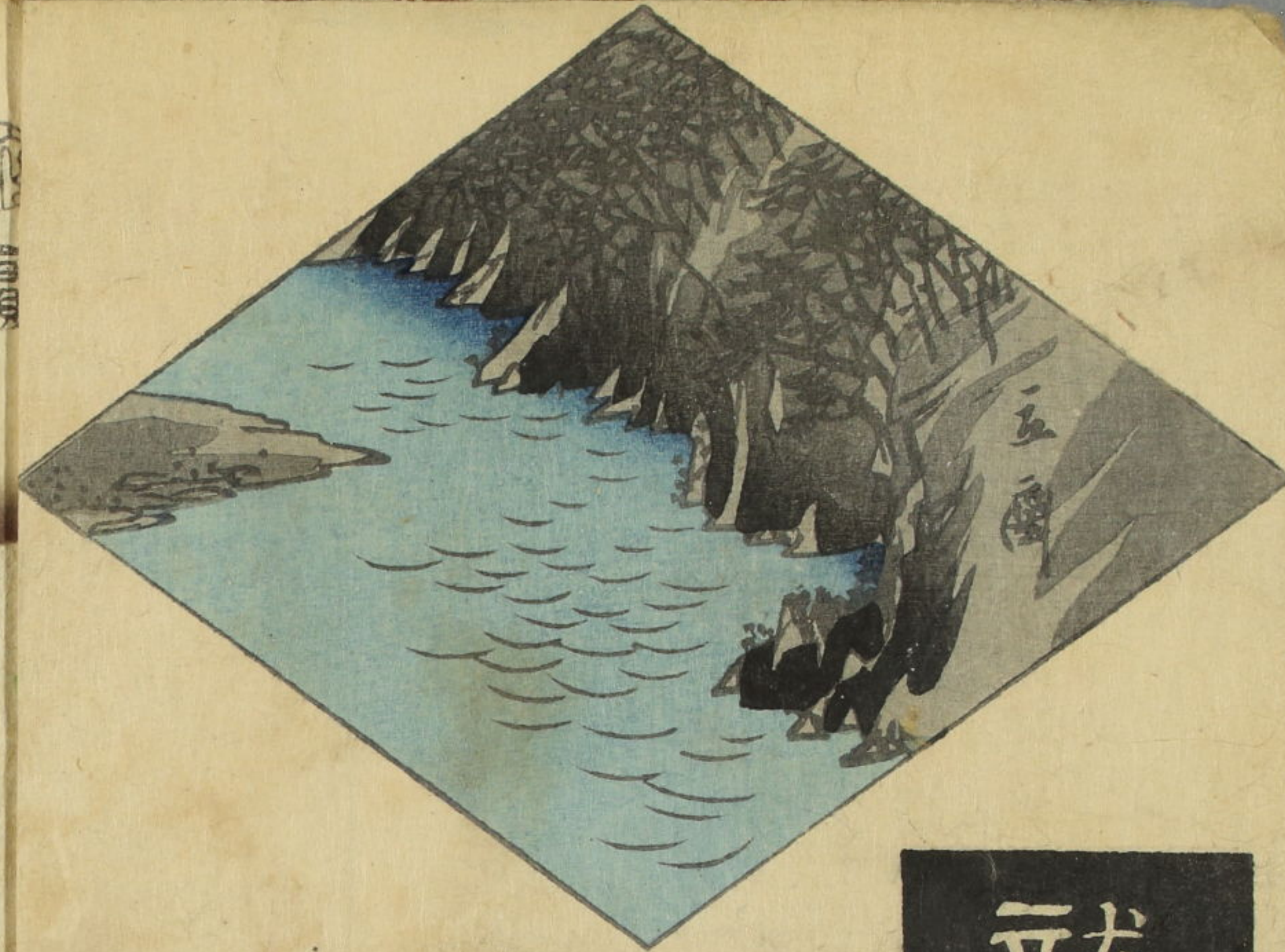
^ 13  
3698  
4





龍王太郎第七編

上 藤 葵 梓



倣鳥居清信吉画  
香蝶樓寫

龍王太郎第七編

門へ13  
2698

# 龍王太郎

第七編

上止卷

嘉永三年庚戌

春藤慶高

式高小三

香蝶樓豊五國画



一

和漢二才圖會

三浦龍丸正辰



嬉戯の部象戯野  
立の條小日金将銀  
將の極官中て王  
の左右の飛車の大將  
の如く角行の副將の如く

龍王七

銀將以下の駒、皆翻て金とす。  
 飛車、就王とす。用行、就  
 馬とす。唯金將、極官也。易  
 くと見えず。世草紙、從來象  
 戲の詔王とす。彼不託  
 想、少はて好評と得く  
 年、毒小編、敵も佳馬の高上  
 王と編とす。成駒、歩けえ  
 ともさる。香車の鎧、向を全  
 指、趨向の駒、組る。本文口  
 繪、一枚落し。紙員對馬の  
 世間、並石宙崩の取、夫、肩、丸車  
 取、王と係られて、王、弁、丸  
 車、離る。拙劣將、基の癖  
 助言、聞、勝も差、重買



の手に金銀と握せんと。  
 悪の酒の上の  
 悪の不埒が生  
 得去、剛、深、甲、提、小、今、今、今  
 願、亦、え  
 嘉永三年  
 庚戌孟春  
 發兌  
 本町庵の  
 小三馬戲題



山賊の首長  
 安達太郎猛秀  
 人呼で天魔軍師と云



貢娘

早苗

掛名時

金傍

燭夜

洞房花

他郷遇故知

久早逢甘雨

詠四喜

須子

信夫の里の郷士  
倉積貢

助之稻



不意兎輩の魁首とる意り  
これ黨といふ无頭の兎

天竺の苦羅  
次郎  
松本  
六本  
本之助  
則房



非雲洞の山は...  
 洞雲の山は...  
 山の中は...  
 太極の山は...  
 山の金銀は...  
 山の松は...  
 山の石は...  
 山の草は...  
 山の鳥は...  
 山の虫は...  
 山の神は...  
 山の霊は...  
 山の魂は...  
 山の魄は...  
 山の精は...  
 山の氣は...  
 山の神は...  
 山の霊は...  
 山の魂は...  
 山の魄は...  
 山の精は...  
 山の氣は...



龍丸の山は...  
 龍丸の洞は...  
 龍丸の山は...  
 龍丸の洞は...  
 龍丸の山は...  
 龍丸の洞は...  
 龍丸の山は...  
 龍丸の洞は...

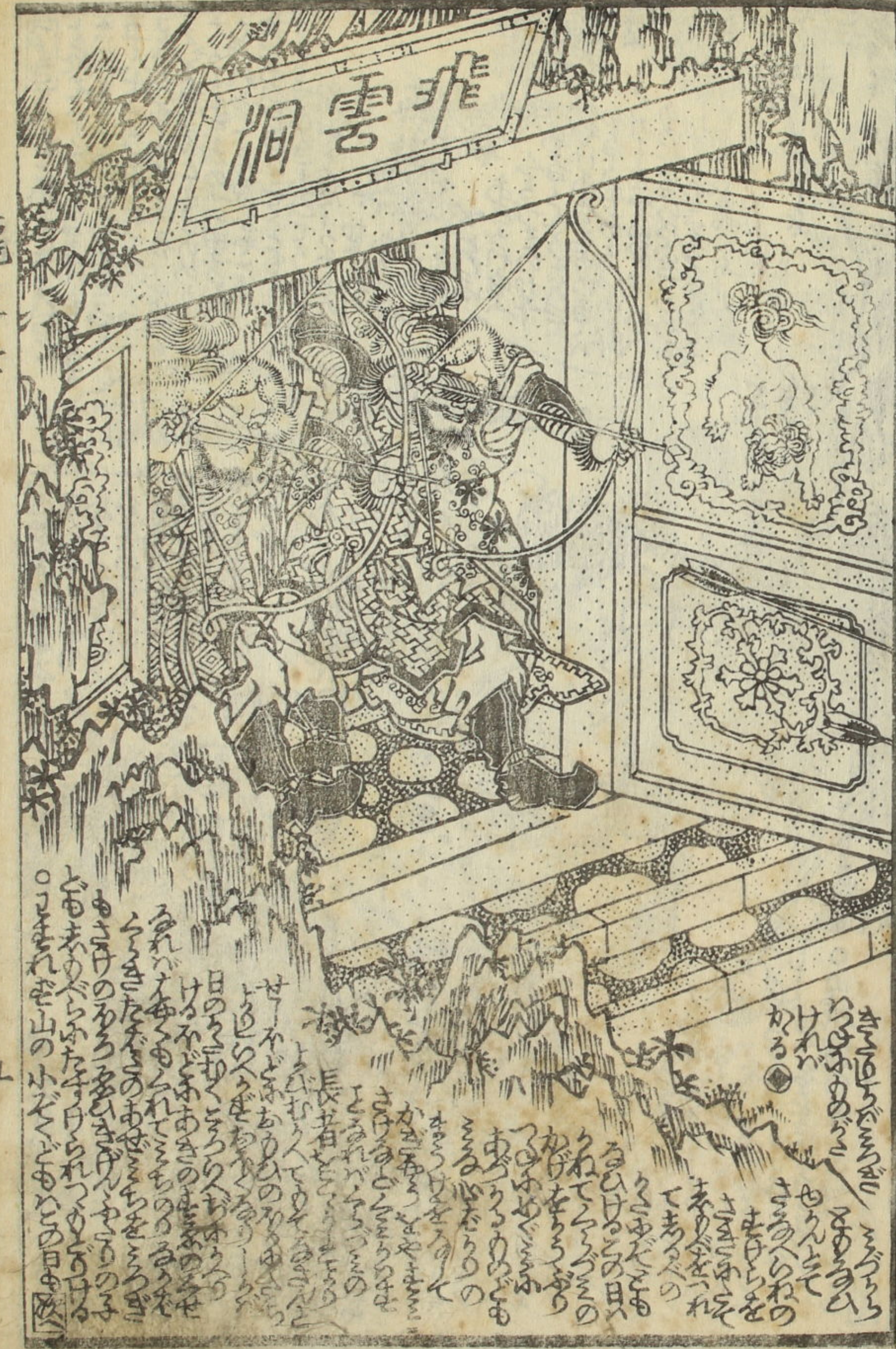
龍丸の山は...  
 龍丸の洞は...  
 龍丸の山は...  
 龍丸の洞は...

この下の小城...  
美濃の...  
早苗...  
あけられ...



この山...  
...  
...

非雲洞



この山...  
...  
...



Vertical text on the left side of the illustration, likely a commentary or a short story related to the scene.

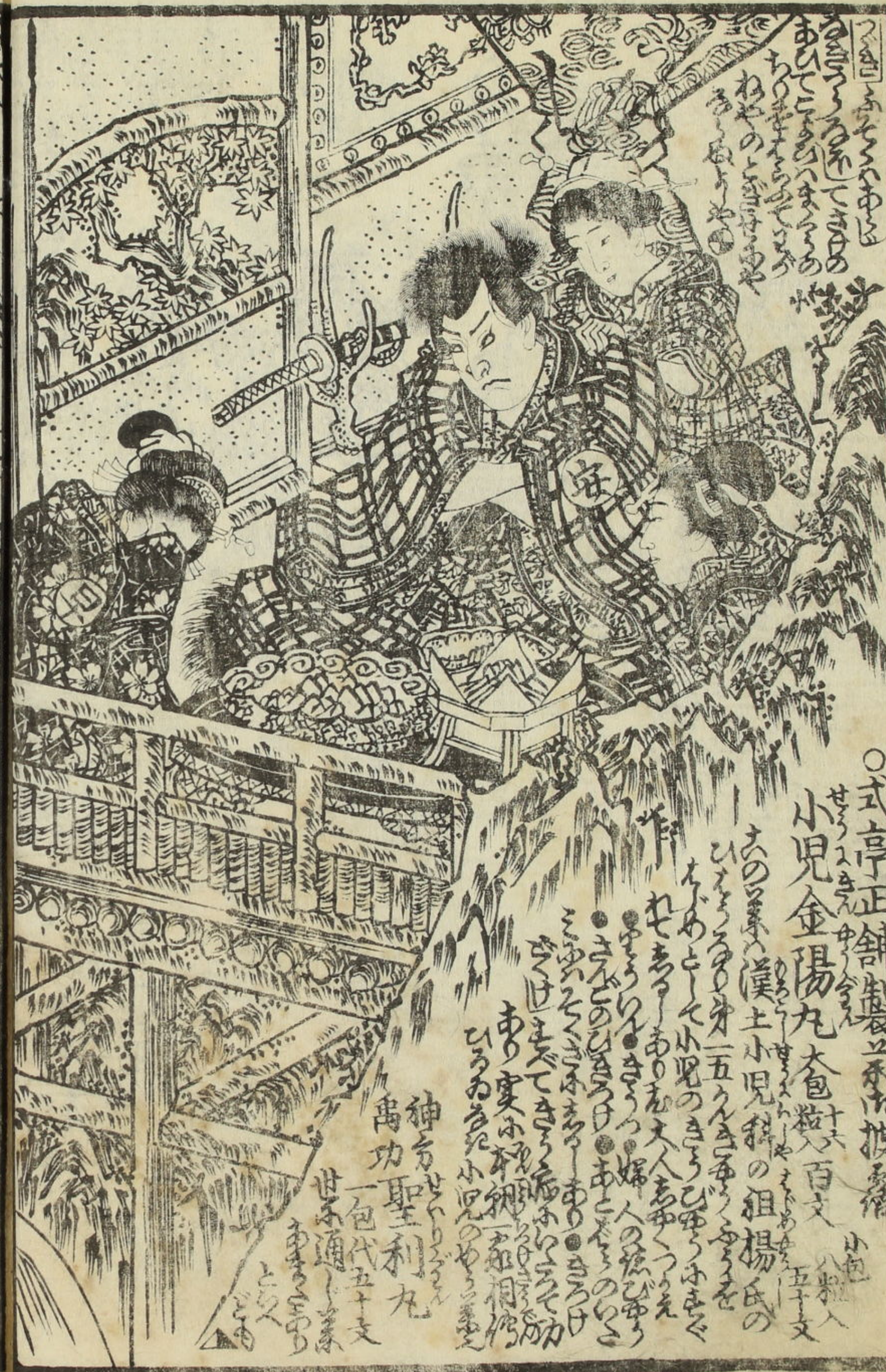


Vertical text at the top of the right page, positioned above the illustration.

Vertical text on the right side of the illustration, likely a commentary or a short story related to the scene.



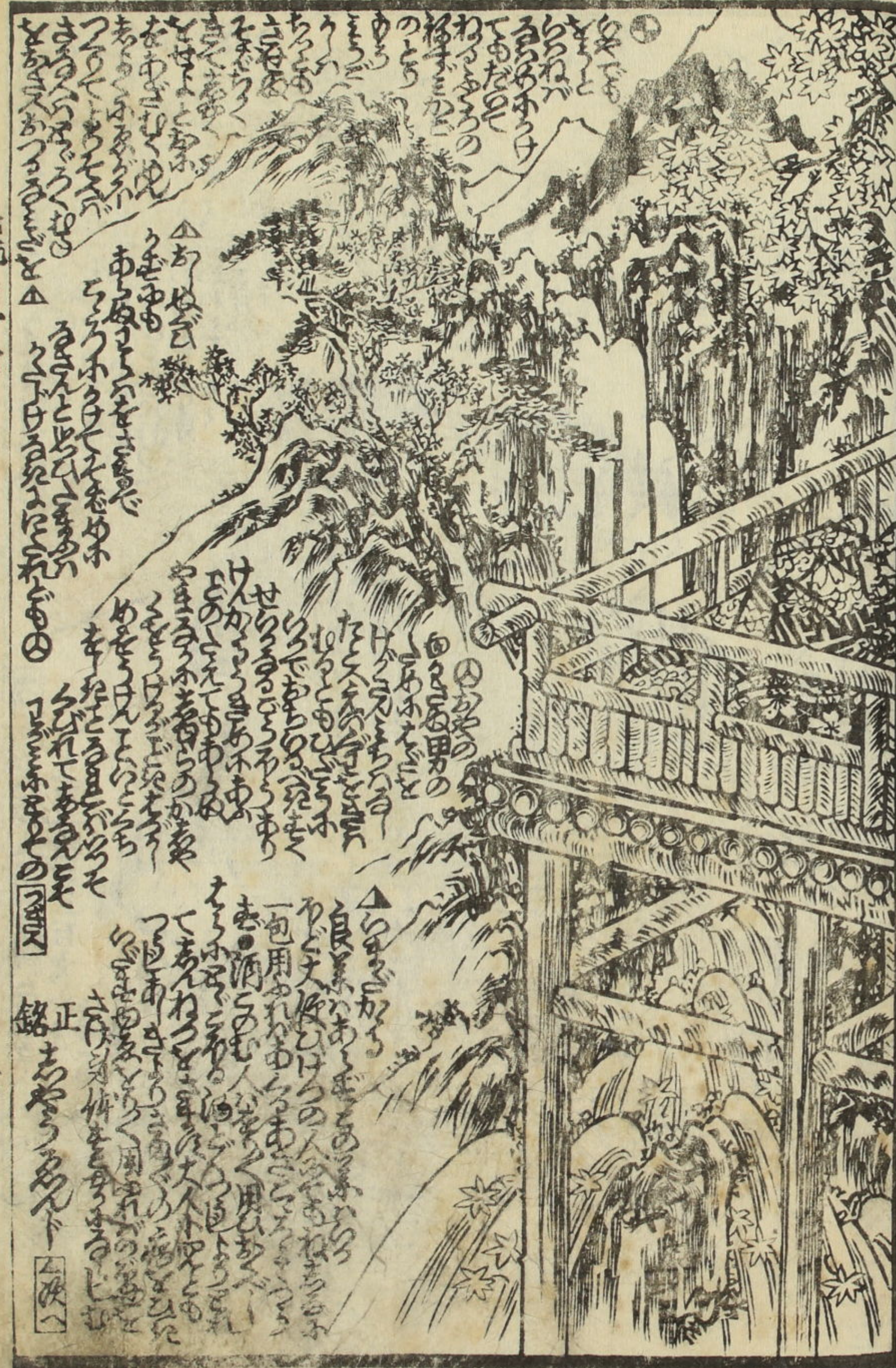
あつちのついでに  
あつちのついでに  
あつちのついでに  
あつちのついでに  
あつちのついでに



式亭正舖製長生衣披

小兒金陽丸 大盒百支 小盒五十支  
 漢土小兒科の組揚氏の  
 小兒科の薬一五十年の経験ありて  
 小兒科の薬一五十年の経験ありて  
 小兒科の薬一五十年の経験ありて  
 小兒科の薬一五十年の経験ありて  
 小兒科の薬一五十年の経験ありて

神功聖利丸  
 禹功聖利丸  
 一世代五十支  
 世不通行  
 世不通行



あつちのついでに  
あつちのついでに  
あつちのついでに  
あつちのついでに  
あつちのついでに  
あつちのついでに  
あつちのついでに  
あつちのついでに  
あつちのついでに  
あつちのついでに



ついでにそのついでに... だんぢんのついでに... 山麓の石崖... 天麻庵軍師... 龍



龍のついでに... 石山麓の石崖... 天麻庵軍師... 龍

ついでにそのついでに... だんぢんのついでに... 山麓の石崖... 天麻庵軍師... 龍



龍のついでに... 石山麓の石崖... 天麻庵軍師... 龍









龍王七

十

嘉永三年庚戌孟陽發市江戶通油街藤園屋慶次郎梓

龍王太郎七編小三馬作  
豊國画

















うんといふは  
ことども  
うんといふは  
ことども

あつちの  
あつちの

あつちの  
あつちの



うんといふは  
ことども  
うんといふは  
ことども

あつちの  
あつちの

あつちの  
あつちの

たつたえぬむね  
のそとわびしくも  
あはれん心は  
あひのこころも  
つたえぬむね  
あはれん心は  
あひのこころも



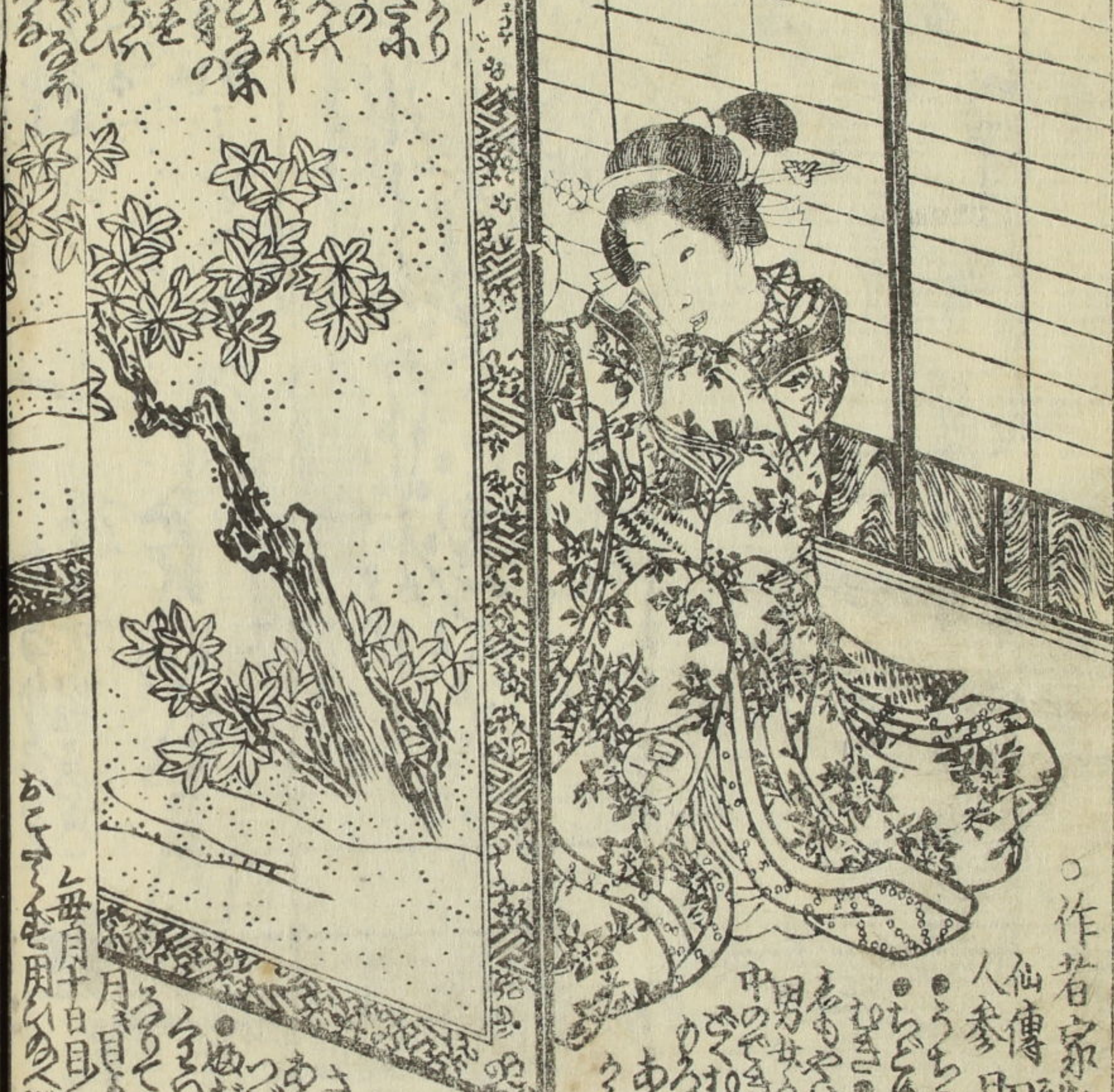
巻五十二

服かきかき  
おんせぬぬ  
あはれん心は  
あひのこころも

十月の  
あはれん心は  
あひのこころも

巻五十二

たつたえぬむね  
のそとわびしくも  
あはれん心は  
あひのこころも  
つたえぬむね  
あはれん心は  
あひのこころも



毎月十日目  
かきかきかき

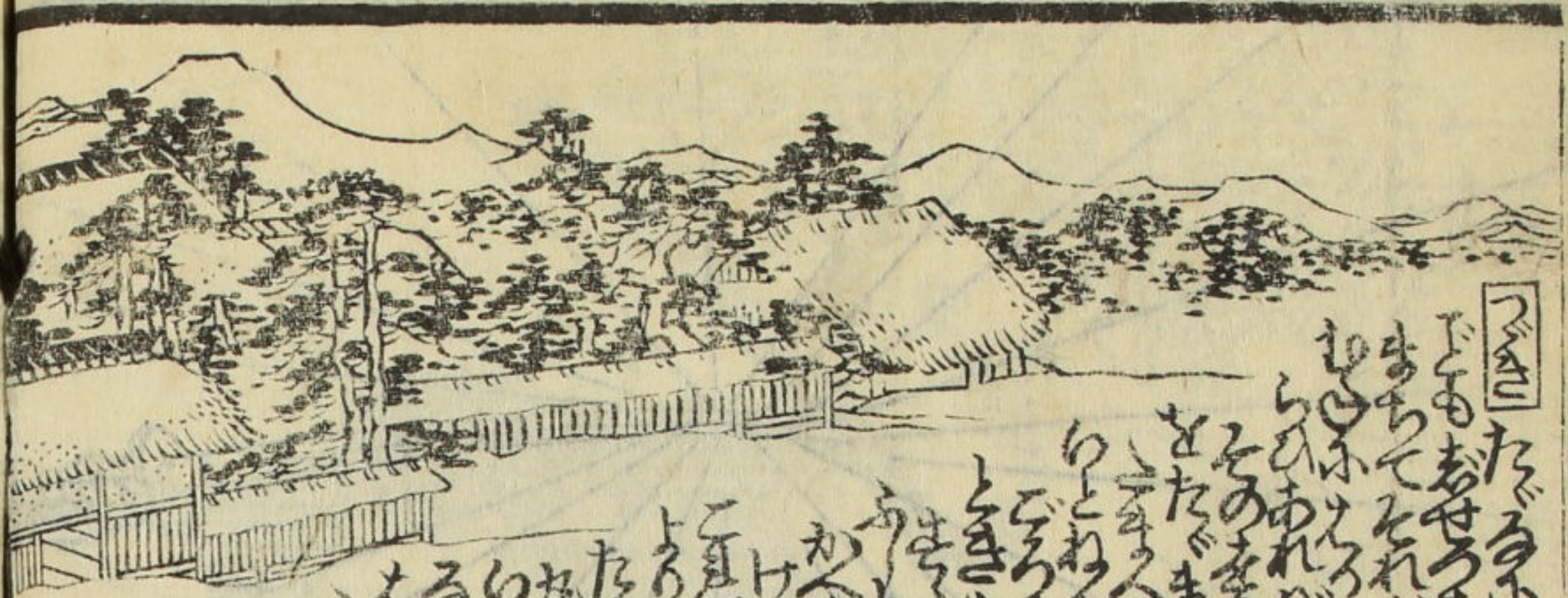
作者家  
仙傳即効油  
大貝代五十支  
小貝代廿支  
三養湯  
人三養湯  
小包代五十支  
百支







豊國画小三馬作



七草四郎 若菜孃子 **あらしのこひ譚** 初編 柳下亭種員作 四編 一陽齋豊國画

繪本川中軍鑑 初編 玉蘭齋擇 五編 五雲亭貞秀画

名取草双蝶々 前編 柳下亭種員作 後編 一陽齋豊國画

牡丹園女子莊子 初編 笠亭仙果作 二編 香蝶樓豊國画

書林錦繪卸店 通油町 藤岡屋慶次郎版

音五七

淨書谷 全川 彫工 須川 廉吉

龍大第八編  
王郎



東方の陽氣と請日本も江戸も共是震木の位ありさば木の成数八  
 三の水の生数少生々不易の数ありと故故の三種の神寶圖を八道  
 官と八道八百万神自ら備る皇國の長久の神恩で云々の津中  
 勝れ大江戸の八百八街も二千町と賄る町並斬小賑小支物敏系昌を  
 考ふる小と小じりくく小支もなりれとの木徳と地理小備へ地名と号け  
 江戸の水と制衣を底陰で拙作の夫相應小賈るのるん木之位より氣象よ  
 みる及岡八編とくと馬が店へをくるの八ととの縁故因縁ありて作  
 の水竹と首くもあれ造化合せ八三見一無頭早急の催促さる書賈か筆盤  
 はくふと八合せと三八二十四孔の醜婦の土妓の賞味ありとのめ給も  
 あるとささけはまてこののでもるの智恵忠衣と三文やも紋りての字  
 梅魁用く天明八声の鶏の生りたる頃  
 嘉永三年庚戌孟春發兌 式亭小三馬戲題

龍王

龍王太郎  
 英雄譚 八編  
 上卷

嘉永三年庚戌春  
 藤慶梓



小三馬作

豊國畫



門人  
 豊國



天  
府  
白  
雲  
子  
乃  
雲  
乃  
乃  
乃  
乃

政  
と  
故  
と  
大  
江  
輝  
天  
龍  
神  
女  
乃  
乃  
乃  
乃  
乃



大  
江  
巴  
門  
之  
助  
輝  
政

邑  
奇  
藤  
次  
敏  
治



行方小  
かどかきくも  
たうやんを  
想ひぬ  
人伝  
あふの  
うへ

大江の  
家長  
花形部  
義厚

大江の細君  
富の前

奸臣  
藤藏  
繁枝



貞妻  
晩稻

いふや  
あふ  
うちや  
やぶらぐれ  
一候やうの  
まよやう  
え

大江の若君道若丸

倉積の女兒  
早苗

茶斗茶園









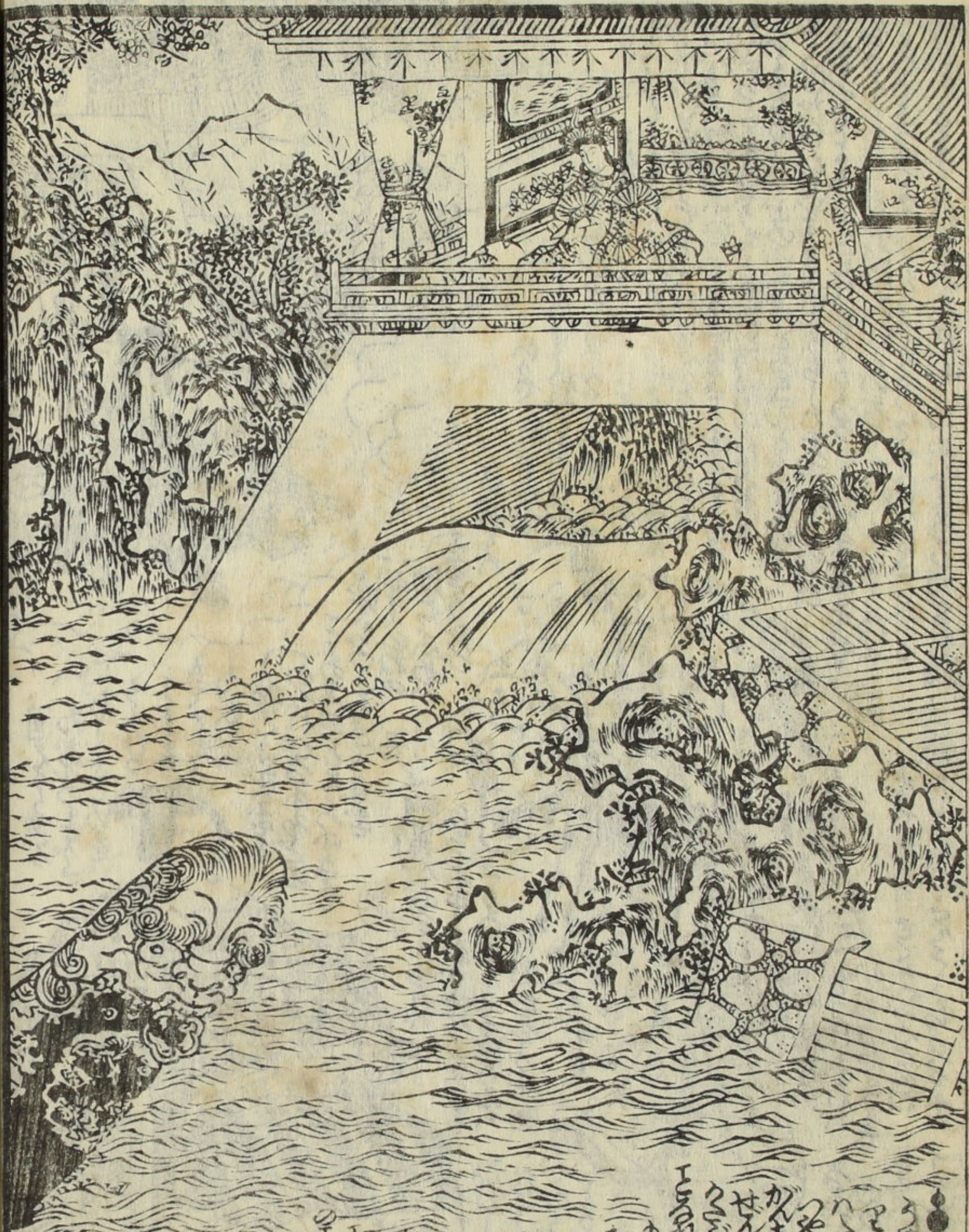






Vertical columns of Japanese text surrounding the top and left sides of the boat illustration.

Vertical columns of Japanese text surrounding the bottom and right sides of the boat illustration.

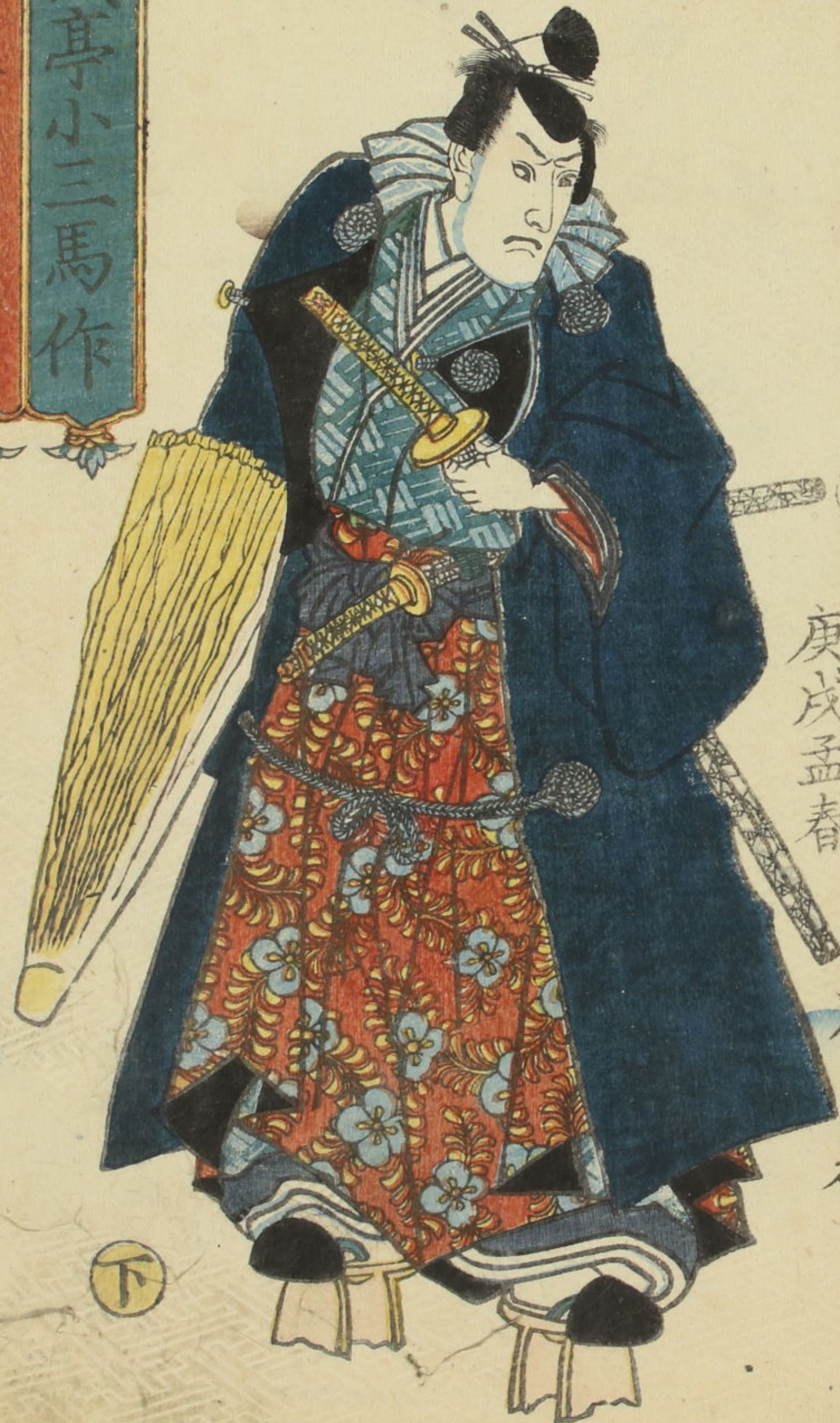


Vertical columns of Japanese text surrounding the bottom and right sides of the waterfall illustration.





式亭小三馬作  
香蝶樓豊國畫



嘉永三年  
庚戌孟春

藤慶梓

下



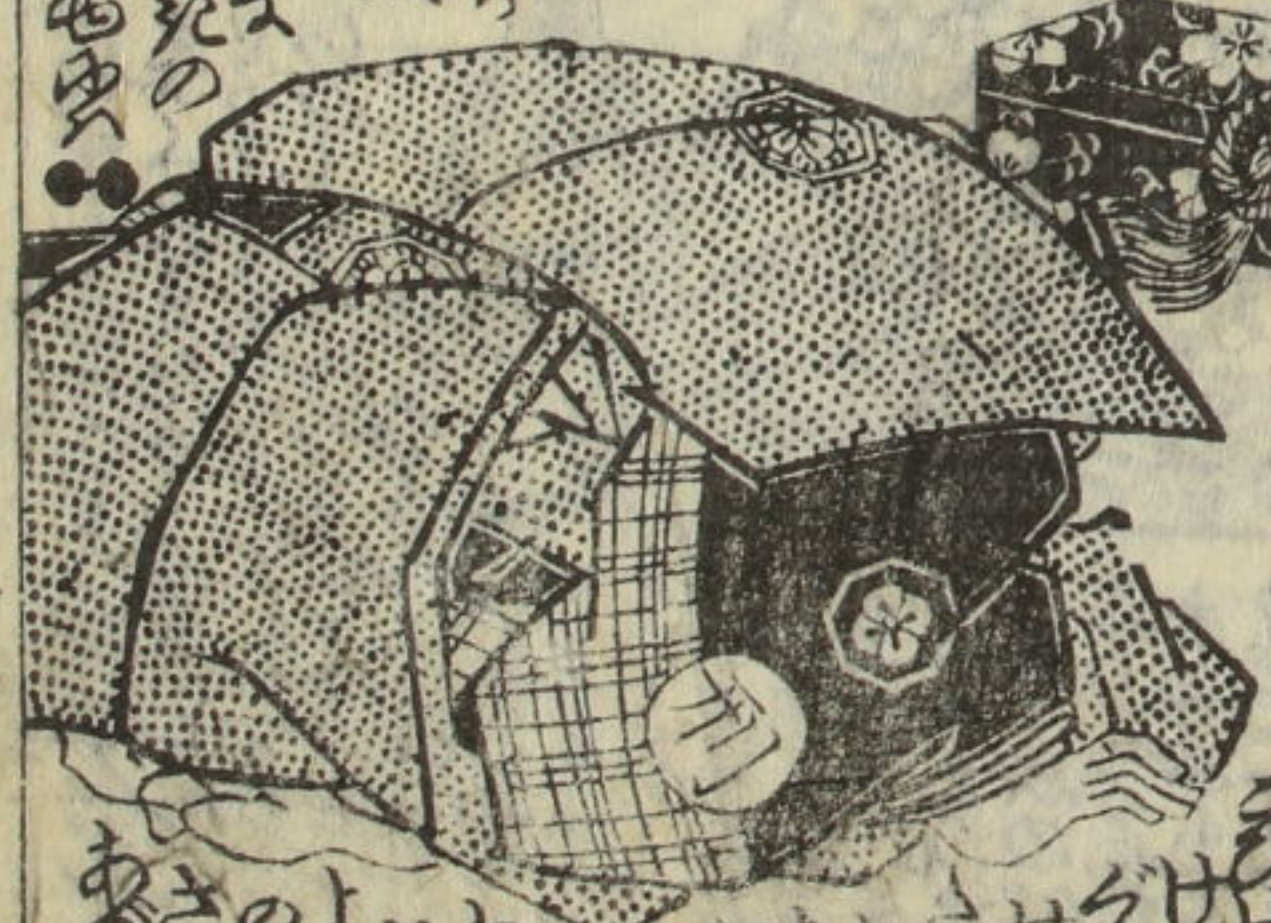


その大江家の人長臣の一人の形を  
その時とてお貞あつてゆいあつて  
のせのあつて一人の形を  
その時とてお貞あつてゆいあつて  
のせのあつて一人の形を  
その時とてお貞あつてゆいあつて  
のせのあつて一人の形を  
その時とてお貞あつてゆいあつて  
のせのあつて一人の形を



その時とてお貞あつてゆいあつて  
のせのあつて一人の形を  
その時とてお貞あつてゆいあつて  
のせのあつて一人の形を  
その時とてお貞あつてゆいあつて  
のせのあつて一人の形を  
その時とてお貞あつてゆいあつて  
のせのあつて一人の形を

その時とてお貞あつてゆいあつて  
のせのあつて一人の形を  
その時とてお貞あつてゆいあつて  
のせのあつて一人の形を  
その時とてお貞あつてゆいあつて  
のせのあつて一人の形を  
その時とてお貞あつてゆいあつて  
のせのあつて一人の形を



法王太郎  
小之馬  
典國  
畫



赤糸の巻  
唐成巻  
通油町  
藤呂屋  
夢江邸  
板









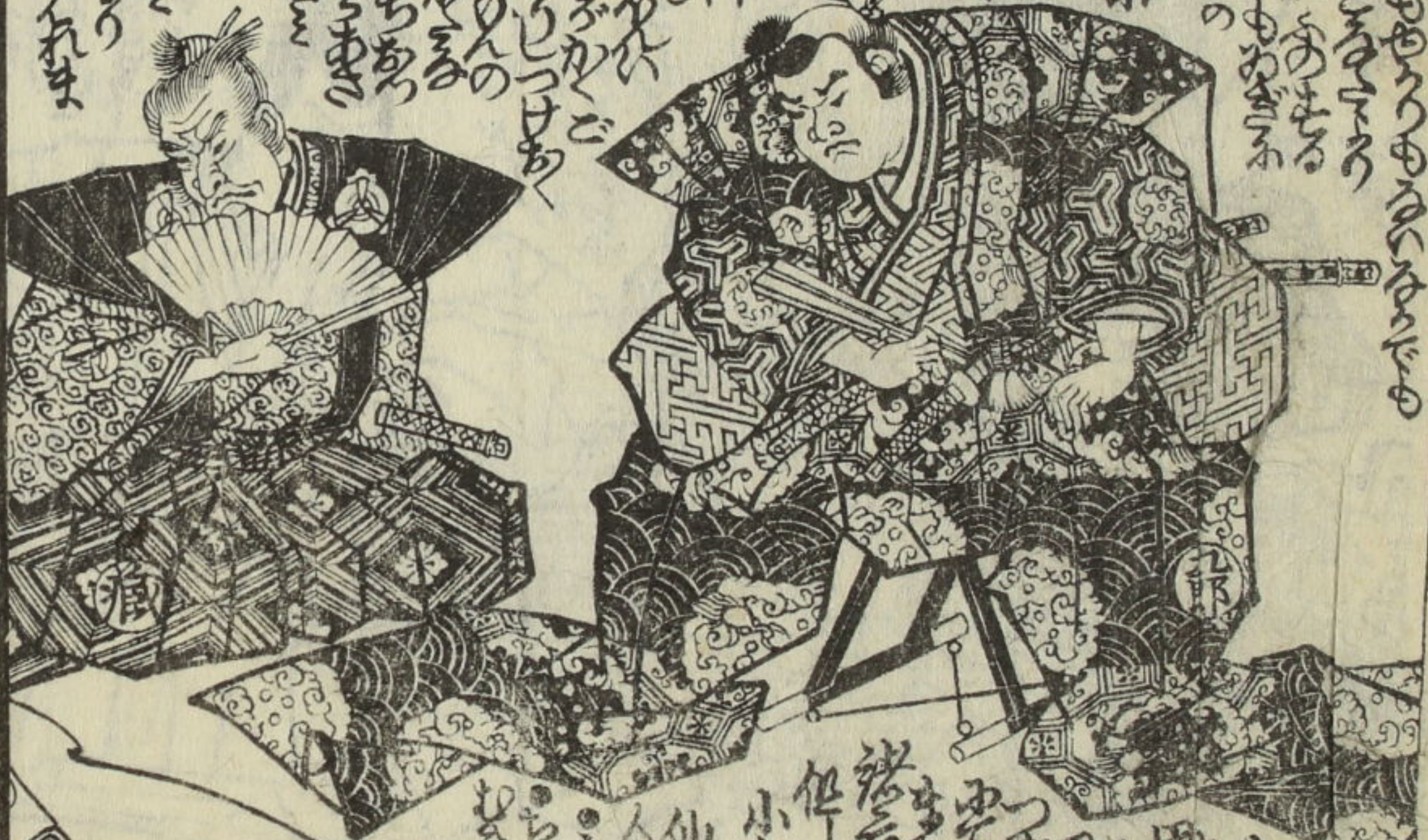




かみ 五日の...  
の...  
あ...



か...  
か...  
か...

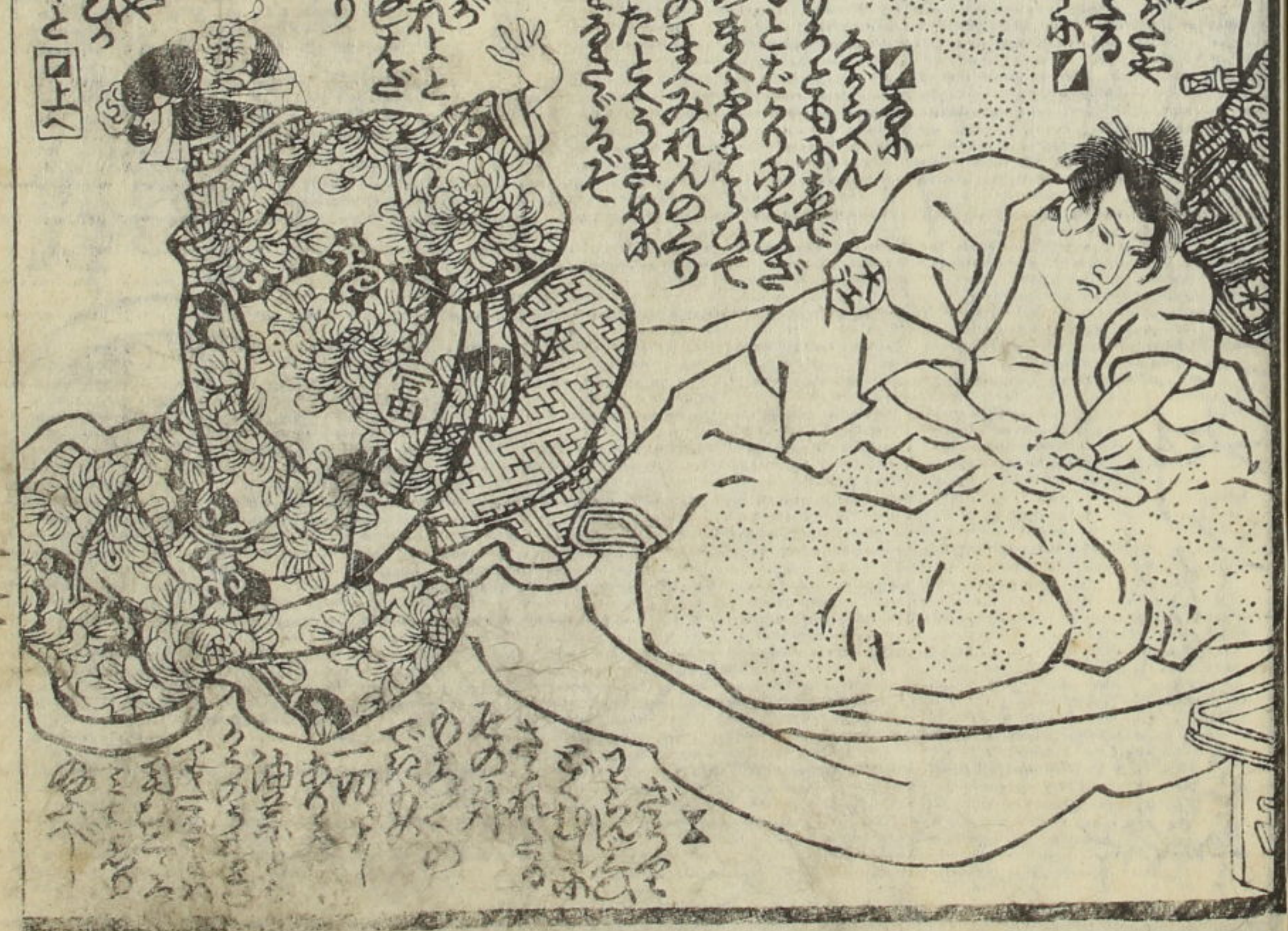


仙傳...  
小包...  
仙傳...  
小包...  
仙傳...  
小包...



か...  
か...  
か...

か...  
か...  
か...



か...  
か...  
か...

三の巻のあつた後... 田代五郎... 田代五郎の助... 田代五郎の助... 田代五郎の助...



本町庵精製... 田代五郎の... 代五十五文 三十二文... 代百文 代百文...

三の巻のあつた後... 田代五郎... 田代五郎の助... 田代五郎の助... 田代五郎の助...



紅毛... 代五十五文 三十二文... 代百文 代百文... 代百文...





ついでに...  
 助が...  
 助が...  
 助が...

おのれ...  
 おのれ...  
 おのれ...

おのれ...  
 おのれ...  
 おのれ...



おのれ...  
 おのれ...  
 おのれ...

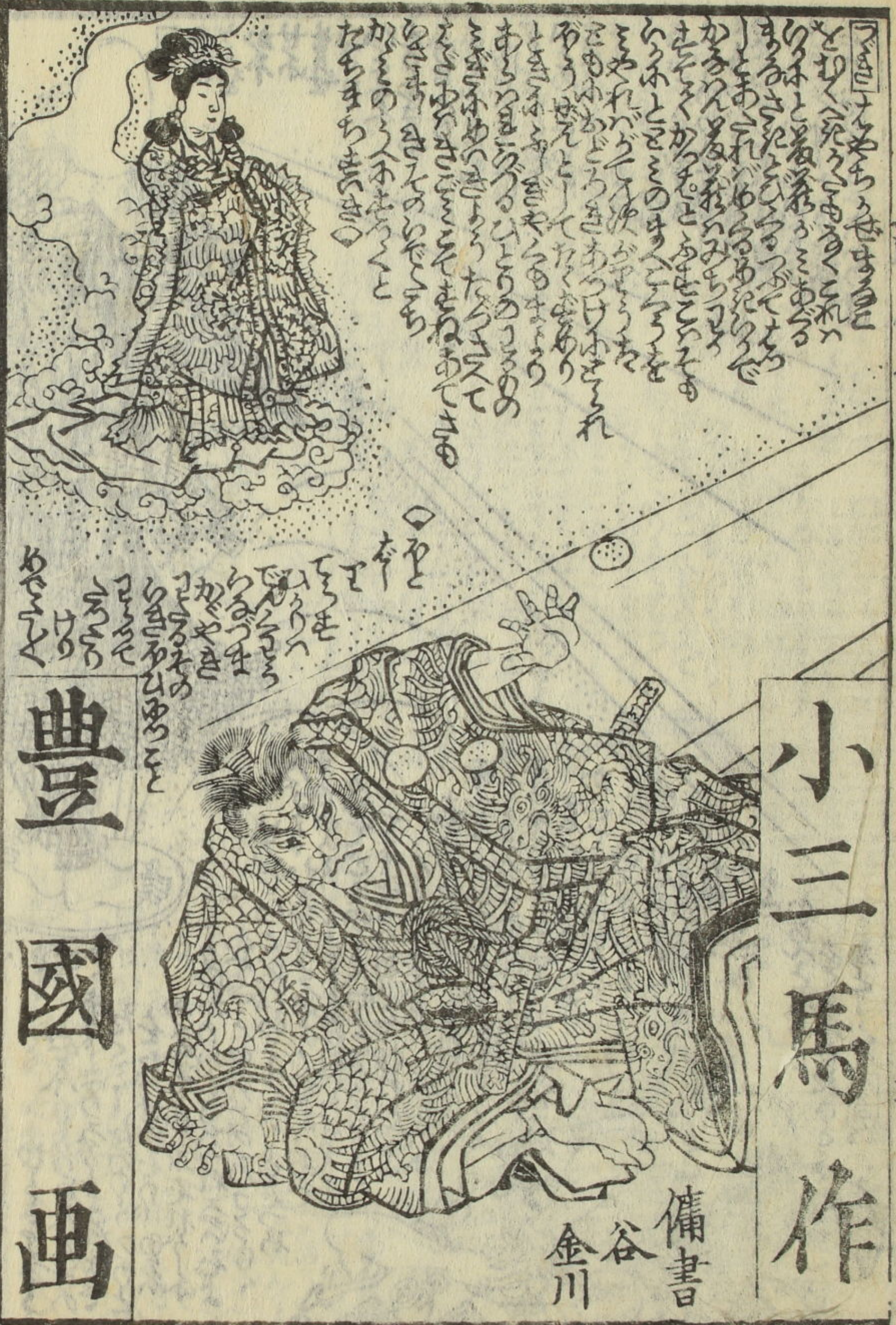
おのれ...  
 おのれ...  
 おのれ...

おのれ...  
 おのれ...  
 おのれ...









昔二一  
 七草四郎  
 若菜孺子  
 七草四郎  
 若菜孺子  
 七草四郎  
 若菜孺子  
 七草四郎  
 若菜孺子  
 七草四郎  
 若菜孺子

七草四郎  
 若菜孺子  
 志らぬひ譚  
 初編 柳下亭種員作  
 四編 一陽齋豊國画

繪本川中軍鑑  
 初編 玉蘭齋 擇  
 五編 五雲亭貞秀画

名取草双蝶々  
 前編 柳下亭種員作  
 後編 一陽齋豊國画

牡丹園女子莊子  
 初編 笠亭仙果作  
 二編 香蝶樓豊國画

書林錦繪卸店 通油町 藤岡屋慶次郎版

龍王 太郎 英雄 譚八編



本町庵  
 小三馬作  
 一陽齋  
 豊國畫  
 嘉永三年庚戌  
 松林堂藤慶



